

2025年度 宇治市自立支援協議会はたらく部会活動報告

1. 部会の目的

障がいのある方たちも 障がいのない方たちと 共に働き暮らせる地域をつくるため、障がい福祉に係る関係機関 及び 障がいがある方たちの就労を支える地域企業 等が情報共有し、地域の課題解決に向け協議を行う専門部会。

障害のある人の多様なはたらきについて、対角線モデル（日本障害者協議会常務理事 藤井克徳氏提唱）での就労支援を学び解決していく。

2. 活動概要

部会員相互の活動内容を知り 相互理解と連携に努めることを通して、地域課題の共有や、職員の資質向上を目的とした勉強会、必要に応じて、課題解決のための調査や、行政への要望などをおこなっている。また山城北圏域就労支援部会とも連携している。

3. 主な参画団体

福祉サービス等事業所 14 箇所（就労 A,B、就労移行、地域活動支援センター）

障害者就業・生活支援センター、宇治公共職業安定所、宇治支援学校、

宇治市障害福祉課 4 箇所

計 18 箇所

4. 今年度の部会開催日及び開催内容

	開催日	開催内容
1	4月24日	運営委員会
2	6月26日	運営委員会
3	7月24日	全体会議 事業所紹介（ネクストワーク・Healing Space さつき）
4	8月28日	運営委員会
5	9月25日	全体会議 就労選択支援についての勉強会
6	10月23日	運営委員会
7	11月27日	全体会議 「はたらく部会活動の活性化に向けたアンケート調査」の結果報告
8	12月25日	運営委員会
9	1月22日	全体会議「はたらく部会活動の活性化に向けたアンケート調査」の結果を踏まえた来年度の活動内容の検討
11	2月12日	運営委員会
12	2月26日	全体会議 今年度の振り返りと来年度の具体的な活動内容の検討

5. 現状と次年度以降への課題

年間を通して、部会員相互の理解促進と連携強化を目的に、概ね隔月で運営委員会および全体会を開催し、意見交換・情報共有に努めた。

しかしながら、年間を通じて出席に消極的な会員も多く、特定の会員に活動が偏る傾向が見られ、部会全体の活性化に向けて大きな課題が残った。

この課題を踏まえ、昨年末には課題の共有および部会活性化を目的としたアンケート調査を実施したが、回答率は対象事業所の約半数にとどまり、十分な意見集約には至らなかった。

次年度に向けては、運営委員をリーダーとしたブロック別の活動計画を推進するとともに、「はあとウォームカンパニー」対象企業に対する参加協力の働きかけにも積極的に取り組み、部会活動の活性化を図っていく方針。